

被災市町村情報

福島県川俣町

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	<p>川俣町は、県都福島市の東南約 20km の位置にあり、四方を里山に囲まれ、町の中心部には広瀬川が流れる自然豊かなまちです。川俣盆地を中心に、絹織物の町として発展してきました。個性ある芸術文化を有しており、日本最大級のフォルクローレ・フェスティバル「コスキン・エン・ハボン」の開催や山木屋太鼓など、若者を中心に文化をつないでいます。</p> <p>また田んぼスケートリンクや フェンシングなどのスポーツにも親しむことができる環境です。町の特産品はシルク製品や川俣シャモが有名ですが、さらに伝統の強みを生かした新しい産業の創出としてウェアラブル端末の開発、近畿大学との復興プロジェクトによるアンズリウムの栽培などにも取り組んでいます。</p> <p>東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故によって避難指示区域に指定されていた山木屋地区は、平成 29 年 3 月に避難指示が解除されました。復興メガソーラー発電所の整備や営農再開に向けた先進的な農業モデルの導入など、住民が安心して暮らすことができるよう環境整備を進めています。また買い物や飲食、交流などのハブ機能を担う復興拠点商業施設「とんやの郷」は、地域コミュニティの再生や情報発信、交流の場となっています。</p> <p>しかしながら、山木屋地区の住民帰還が停滞するなど復興は道半ばであり、地域コミュニティの維持 など新たな課題への取組が必要となっています。</p>
復興状況	<p>東日本大震災による原子力発電事故から 13 年余りが経過し、旧避難区域である山木屋地区を中心に町の復興は道半ばの状況です。</p> <p>今後も復興に係る人員が必要な状況が続いております。</p>
ホームページアドレス	https://www.town.kawamata.lg.jp
交通	<p><バス>JR 福島駅より約 45 分 <車></p> <ul style="list-style-type: none">・福島市より国道 114 号線 約 30 分・郡山市より国道 49 号線、国道 4 号線、国道 114 号線経由 約 1 時間 20 分・いわき市より国道 49 号線、国道 349 号線、国道 114 号線経由 約 3 時間・会津若松市より国道 118 号線、国道 49 号線、国道 4 号線、国道 114 号線経由 約 2 時間 30 分・相馬市より国道 115 号線、国道 349 号線経由 約 1 時間・浪江町より国道 114 号線 約 45 分 <p>※東北道二本松 IC より国道 4 号線、国道 114 号線経由 約 40 分</p>
放射線情報	<p>0.04 マイクロシーベルト/h (川俣町役場)</p> <p>0.079 マイクロシーベルト/h (山木屋公民館) 令和 6 年 1 月 6 日現在</p> <p>川俣町の放射線情報は、川俣町役場ホームページ、または原子力規制委員会のホームページで確認いただけます。</p>

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8時30分から17時15分まで (休憩時間 12時から13時)
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、その他年末年始
時間外勤務	勤務の進捗状況により、お願いする場合があります。
年次有給休暇	20間（繰越20日限度）
その他の休暇	町職員と同様、特別休暇を設けています。
宿舎	町が借上げた住宅を準備します。高熱水費は個人負担となります。
備品	一部の家電製品は用意されています。
駐車場	町役場から片道2キロ以上の場所から勤務の場合には、役場周辺の町で用意した駐車場を準備します。
通勤手段	町役場から片道2キロ以上の場所から勤務の場合には、役場周辺の町で用意した駐車場を準備します。それ以外の方は徒歩での通勤となります。
通勤時間	町役場まで10分以内
立地条件	空き物件により変わりますが、近くにスーパーなどがあります。

3 インフラ等

項目	内容
商業施設	スーパー、コンビニ、ドラッグストア、衣料品店などがあります。
医療機関	町内の医療機関を活用できます（小児科もあります）。
子育てに係る施設	認定子ども園、小学校、中学校、高校があります。
水・電気・ガス	すべて復旧しています。

4 その他（コメント等）

--

5 担当者連絡先

所属部課名	総務課総務係
電話番号	024-566-2111 内線 1102
FAX番号	024-566-2438
メールアドレス	soumu@town.kawamata.lg.jp